



早いもので、一学期も終わりを迎えました。梅雨明け前の警報級の大雨では、出雲市でも川が氾濫し、家屋が浸水したところもあったようです。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

4日には、保育公開・保護者会等にお出かけいただき、ありがとうございました。入園・進級当時から、随分成長した様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。思い返すと、初めての集団生活で不安を感じていた子、新しい先生や新しい保育室となり少し戸惑いを感じていた子、新しい名札になったことが嬉しくて張り切っている子、幼稚園で一番年上の組になり意欲満々な子……。いろいろな思いを抱えての4月だったように感じます。少しずつクラスの友達や先生に親しみ、集団生活の約束事やクラスでの生活の仕方を覚え、笑顔や笑いが日に日に増えていきました。全園児活動や遠足、園外保育では、いろいろな友達と触れ合い、園内ではできない体験をしました。栽培活動では、普段食べているお米や野菜がどんな風に育っていくのかを自分の目で確かめたり、水やりや草取りなどのお世話をしないと大きくなならないことを実感したり、お手伝いをしてくださる方がいらっしゃるからこそ立派な野菜ができることへの感謝の気持ちをもったりしました。『ひらたっこ きらりんまつり』では、企画・準備してくださった役員・委員のみなさんと、当日子ども達と一緒に過ごしてくださったおうちの人のおかげで、本当に楽しい思い出ができました。各クラスでは、それぞれの年齢の発達と子ども達の興味によって、いろいろな活動が繰り広げられました。そうした遊びの中で、「楽しいな、もっとやってみよう」「これ、何だろう？調べてみよう」「〇〇電車だよ、のってくださーい」「今度はこんな風にしてみよう。だってね……」「〇ちゃん、いくよー」「いいよ！」「△くんが、寄せてくれない……」「友達と遊ぶと面白いね」……など、いろいろな遊びの面白さを感じたり、気づきや発見をしたり、イメージを沸かせたり、自分なりに考えたり、試行錯誤を楽しんだり、友達と関わって遊ぶことで楽しさや時には嫌な思いも経験したり、それでも友達と一緒にいる楽しさを感じたり……。こうした一つ一つの体験や思いがすべて、一人一人の学びとなっていったと思います。私たち職員は、その一人一人の思いや願いを受け止め、それぞれ異なる良さを伸ばし、友達やクラスのつながりができていくように援助してきました。一学期にため込んだ学びが二学期に更なる成長につながるようにしていきたいと思います。

一学期間、保護者の皆様にはあたたかいご理解とたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。二学期、また元気いっぱい子ども達に会えるのを楽しみにしています。『なつやすみのくらし』をよく読んで、元気で安全に楽しい休みをお過ごしください。



## 【平田図書館 読み聞かせ】 6月26日(月)

- 年少組
- ①「ぼうし とったら」 tupera tupera/さく、Gakken/刊
  - ②「あのくも なあに？」 富安 陽子/ぶん、山村 浩二/え、福音館書店/刊
  - ③「めがねうさぎ」 せな けいこ/作・絵、ポプラ社/刊
  - ④「とらきちのぼうけん」 間 宙地、前田 マリ/絵、福音館書店
- 年中組
- ①「かみなり」 武田 康男/監修・写真、小杉 みのり/構成・文、岩崎書店/刊
  - ②「だれのほね？」 たけうち ちひろ/分・切り絵、西澤 真樹子/監修、出版ワークス/刊
  - ③「やさいばたけのやまねこさん」 こじま さとみ/作、福音館書店/刊
- 年長組
- ①「あめのもりのおくりもの」 ふくざわ ゆみこ/さく、福音館書店/刊
  - ②「たなばたバス」 藤本 ともひこ/作・絵、すずき出版/刊